

## 【活動事例1】

公表日:平成 27 年 7 月 31 日

プロジェクト名	「移動式福祉バイオトイレカー」と「資格介助者」による災害弱者及びボランティアへのトイレ空間の提供及びガレキ撤去作業
活動団体名 活動者名	特定非営利活動法人やさしくなろうよ 理事長：品田直子 資格介助者・ボランティア多数
活動概要	<p><b>【当法人の活動概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>当法人は、肢体不自由な障がい者とその家族が、屋外コンサートや花火大会などに参加することを諦める大きな要因であるトイレ問題を解決するため、移動式福祉バイオトイレカーと資格介助者を現場に派遣して、快適トイレを提供して、健常者と同じく生きる喜びを享受していただくことを目的として、トイレ車両開発企業から引き継ぐ形で、平成 23 年 1 月に神奈川県海老名市で設立しました。主に神奈川県を中心に派遣を行ってきました。</li></ul> <p><b>【震災直後からインフラが整うまで】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生の一報を聞き、被災地の悲惨な状況を知るにつれて「何か手伝いができるはずだ」との思いで、救援物資を詰め込んで、3 月 21 日に移動式福祉バイオトイレカーと資格介助者を、宮城県石巻市に向けて出発しました。到着してすぐにインフラの麻痺した被災地において、肢体不自由な障がい者や高齢者を中心とした災害弱者を対象にした「移動式福祉バイオトイレカー」と「資格介助者」によるトイレの提供活動を実施しました。想定通り、電気・水道がマヒした被災地で、災害弱者にとって車いす用電動リフト付きで資格介助者のサポートによるトイレは大いに喜ばれました。</li></ul> <p><b>【復興段階】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>移動式福祉バイオトイレカーは現地の福祉協議会などの強い要望もあり、インフラが整いつつあっても、そのまま被災地に滞在しました。活動内容は、主に復興トイレ設備の無い屋外でのガレキ撤去作業場所において、移動式バイオトイレカーを設置して、ボランティアなど作業員に対してトイレを提供することです。ガレキ撤去活動において、トイレの問題は想像以上に深刻でした。トイレが無い活動場所が多く、ボランティアの中には排泄物を袋に入れてベルトにぶら下げて作業を続ける方もいました。当法人の資格介助者も現地にてガレキ除去などの作業の実施をいたしました。下記のように一連の活動は震災発生から 1 年半が経過した平成 24 年 10 月末まで実施いたしました。</li></ul> <p><b>【利用された方からの声】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>宮城県石巻市 震災発生直後の障がい者・高齢者へトイレ支援活動<ul style="list-style-type: none"><li>車いすを利用する人、介助の必要なお年寄りのトイレは、本当に困っていました。</li><li>避難所では着替えをする場もなく、車両の中は暖房も付いていたので、プライバシーを守り着替えをすることができました</li><li>介助者（ホームヘルパー 2 級やサービス介助士）がいたので、避難所でもお手伝いいただき助かりました</li></ul></li></ol>

2. 宮城県本吉郡南三陸町と岩手県遠野市拠点 沿岸部（陸前高田市、大槌町）でのガレキ撤去ボランティア活動の方へトイレ支援活動
- ・ガレキ撤去時には、トイレカーが常にあってほしい
  - ・トイレのことが心配で、ボランティア活動に参加できずにいたが、このトイレカーがあることで、次回もボランティア活動に参加します。
  - ・（3月）雪が降る中、ガレキ撤去の作業をしました。身も心も凍ってしまいそうでしたがトイレカーの中がととても暖かく、一息つくことができました。ありがとうございました。
  - ・トイレが移動できるので、ボランティア活動場所からトイレの場所まで長距離移動しなくて済んだ
  - ・し尿の処理がない為、不快な臭いもなく衛生的で特に女性には喜ばれた
  - ・現地で「トイレの神様」と呼ばれるようになり、ボランティア活動のリピーターが増えた

※全て延べ人数及び台数

活動実績

期間及び活動拠点	参加ボランティア人	総利用者数	総出動台数	総走行距離
H23. 3. 21～6. 17 宮城県石巻市	50 人	129 人	22 台	2,500 km
H23. 8. 2～H24. 5. 31 岩手県遠野市	8,464 人	3,988 人	148 台	17,086 km
H23. 9. 19～H24. 10. 31 宮城県南三陸町	31,134 人	19,544 人	547 台	51,274 km
H24. 8. 19～8. 30 みちのく TRY	497 人	273 人	12 台	326 km
総合計	40,145 人	23,934 人	729 台	71,186 km

活動地域

宮城県石巻市、南三陸町、岩手県遠野市を拠点に被災地のガレキ撤去場所や復興イベント会場など

活動期間

平成23年3月21日、被災地（宮城県石巻市）到着。以後、平成24年10月31日まで被災地各地に駐在。

活動分類

※別紙の「1. 活動主体・活動場所の分類」に従って①～③のいずれに該当するかをご記入下さい。また、「2. 活動内容別の分類」に従ってア～ケのいずれに該当するかをご記入下さい。

活動を撮影した写真



発生直後の車いすの方への  
トイレ支援（石巻市）



発生直後の車いすの方への  
トイレ支援（石巻市）



トイレのないガレキ撤去現場での  
活動（遠野市）



雪の日のガレキ撤去（南三陸町）

URL		<a href="http://yasashikunarouyo.jp/">http://yasashikunarouyo.jp/</a>
問い合わせ先	所 属	理事長
	担 当 者	品田直子
	電話番号	046-235-5200
	メールアドレス	info_atmark_yasashikunarouyo.jp

※ 迷惑メール対策として、問合せ先メールアドレスの「@」を「\_atmark\_」に変更しております。